この議員報告は市政調査の目的で発行しています。

Daisuke IZM PRESS Vol.6

編集・発行人：泉大介　枚方市東香里元町16-34
発行：令和４年春

声を力に。
―枚方の希望を守る。―

One Osaka!

枚方市議会議員団 泉大介（いずみだいすけ）

現金10万円一括支給が実現！
～要望案含む補正予算が緊急議会で可決

国の子育て世代への支援策である臨時特別給付金（子育て特別給付金）について、大阪維新の会 枚方市議会議員団は、昨年12月9日、枚方市に対し緊急要望書を提出、1月18日に開会された緊急議会において要望案を含む補正予算案が可決されました。今後も、市民目線に立ち、皆様の声を市政に反映させるべく、活動を展開していきます。

↑要望書提出

現金10万円を一括支給→ 実現　**妊婦に対しても同様に給付→ 実現**　**国の所得制限を撤廃して給付→ 実現**

これまでの活動

文通費の見直しを求める意見書を全会一致で可決

昨年の衆議院議員選挙後、在籍１日でも１か月分（100万円）支給されていた文書通信交通滞在費（文通費）に対して、国民の関心が高まり、国会でも制度の見直しについて議論が行われています。枚方市議会で支給されている政務活動費は、収支報告書や１円以上の領収書公開、残金の返金など行っており、文通費に対しても同様の透明性と公平性が図られるよう、制度の見直しを求める意見書を昨年12月定例月議会において、全会一致で可決しました。

豪雨災害 長崎県波佐見町へ義援金

大阪維新の会枚方市議会議員団は、令和3年8月の豪雨災害で被害を受けた長崎県波佐見町に対して寄附を行いました。

波佐見町は枚方市とは交流友好都市であり、棚田などの自然やブランド力のある波佐見焼などの陶器を観光資源として、体験型のツーリズムを公民連携により展開するなど、コロナ禍以前は観光客が年間100万人を超えていました。この度の災害では家屋の倒壊や土砂崩れなどで10億円を超える被害が起こっています。

↑波佐見町より感謝状

大阪維新の会では、議員報酬の削減を目指し、議会で条例が成立するまでの間も被災地への義援金という形で身を切る改革を行っています。

要望活動

大阪維新の会 枚方市議会議員団では、市民から寄せられた相談や各種組織団体との意見交換を通じていただいたご意見をもとに、市に対し要望書の提出を行っています。

要望１ 令和3年４月22日
新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

要望２ 令和3年５月13日
新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望書

要望３ 令和3年11月13日
令和4年度枚方市予算編成に関する要望書

要望４ 令和3年12月９日
子育て世帯への臨時特別給付金における緊急要望

市民相談

センターラインのない危険な交差点や、繁茂し過ぎた公園の植え込みなど、危険個所について市民からご相談をいただき、枚方市へ情報共有し対応を行っています

交差点センターライン

繁茂した公園

泉大介 プロフィール

https://www.izumi-daisuke.net

会派： 大阪維新の会枚方市議会議員団
R３年度：市民福祉委員会 副委員長
経歴： 昭和57年生まれ　歌手（DiceK名義）　おきのえらぶ島観光大使
山之上小、村野中、西野田工業高校（カヌー競技で3年連続国体出場）、大阪工業大学卒。東香里元町在住。
趣味： キャンプ　**家族：** 妻・子・ミニピン・イタグレ

@cnu3583d
DiceKizm
@izm_daisuke
izumidicek

すべてのアカウントにアクセスできます。

LINE 枚方市公式アカウント

枚方市公式LINEに登録すると、最新情報が送られてきますので登録をお願いいたします。

登録はこちら ▶

市政に関するお問い合わせ

泉大介（いずみだいすけ）
090-8199-4919
info@izumi-daisuke.net

大阪維新の会枚方市議会議員団
〒573-8666　枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所本館4階
072-841-1221（代）

質問の議事録はこちら

本紙に掲載している質問・質疑・意見は枚方市議会で泉が発言したものの要旨です。

議会報告（要旨）

地域に移行される部活動、受け皿となるスポーツプラットフォームの構築を

9月一般質問　スポーツ振興について

令和２年９月にスポーツ庁より、令和５年度から休日の部活動の段階的な地域移行を実施していくと示されています。これは、部活動の指導に地域人材の協力を得て、教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を作り、生徒にとって望ましい部活動の実現を図るものとなっています。

こうした中、鳥取市では、地域スポーツクラブが指導員を発掘・養成、部活に派遣するという事業を始めるそうです。教員の働き方改革のほか、生徒と住民が交流することで地域活性化につなげることが狙いであるとのことです。

また、欧州では地域社会・経済のエンジンとして地域スポーツクラブが多数存在し、地域に根付いた裾野の広いサービス業を形成しています。

本市でも、地域スポーツクラブを核として、民間事業者と連携した、地域スポーツを推進するプラットフォームを構築していくことは、部活動指導体制の見直しを進めるうえでも効果的な手法であり、様々な事業と関連することで地域活性化にもつながるものと考えます。

２つの問題意識

1 「サービス業としての地域スポーツクラブ」を核とした産業クラスターの可能性

- 欧州では地域社会・経済のエンジンと呼びうる「地域スポーツクラブ」が存在。日本においても「無償ボランティア」頼みではなく、地域に根付き、裾野の広い「新しいサービス業」を生み出し、成長軌道に乗せるための手立てを考える必要。

2 ジュニア世代のスポーツ基盤である「学校部活動」の、持続可能性問題

- ジュニア世代の主なスポーツ機会である学校部活動は、教員の過剰労働問題により、持続可能性に黄色信号。
- 休日部活動の段階的な地域移行方針は文科省から通知されるも、その後の全体像と道筋は未だ不透明。

〈経済産業省　地域×スポーツクラブ産業研究会第１次提言より〉

地域スポーツのプラットフォームの構築も含めて、庁内の様々な部署が関わりながら進めていく必要があると思います。国の動向に注視し、準備を進めていただきますよう要望いたしました。

子どもを守る視点、多様な家族の在り方を

9月一般質問　性的マイノリティ支援事業について

枚方市では、性的マイノリティである二人をパートナーとして認める『パートナーシップ宣誓制度』を導入しています。最近では、さらに拡充した『ファミリーシップ制度』を導入する動きが全国的に活発化しています。パートナーが親として認められず、病院で子どもの病状説明を受けることが出来なかった、といった事例等を受け、同居する子どもも家族として認めるといったものです。枚方市においても、子どもを守る観点から『ファミリーシップ制度』の導入を検討するよう要望いたしました。

失われつつある無形文化、保存を進める取り組みを

12月一般質問　市内文化財の保存・活用について

枚方市内には、『交野節』という無形民俗文化があります。これは河内音頭のルーツといわれ、その文化は市外にも広がっており、これまで市単独での調査が、なかなか前に進んでこなかったところです。そのような中、『交野節』の無形民俗文化財登録を進める団体の尽力もあり、令和３年度より大阪府は府内全域の民俗芸能（盆踊り）調査を開始、現在は枚方市としても、「交野節」に関連がある市内団体への調査・研究に協力しています。

国は市町村に「文化財保存活用地域計画」の策定に努めるよう通知しており、本市においても計画を策定し、市内文化財の保存と活用、枚方の観光に繋げていただくことを要望いたしました。また、保存を目指す団体は子どもたちへ節や踊りの継承、地域イベントへの出演なども行っておられ、交野節以外の節や踊りの保存にも取り組んでおられます。こういった文化の継承、地域のつながりなど活動への取り組みを支援し、観光をはじめとした、地域資源として育てていただくよう、要望いたしました。

↑交野ケ原交野節・おどり保存会

選挙期間中に職員団体が投票依頼、厳正な対応を

12月一般質問　職員団体が発行する機関紙について

衆議院議員選挙の選挙期間中に発行された職員労働組合の機関紙に、特定の候補者の顔写真、氏名、政党への投票依頼などの記事が掲載されていました。この内容について、市は厳重注意を行っています。

職員労働組合は市の所有する建物に事務所を構えており、「職員の勤務条件の維持改善及び職員の福利厚生に限る」という使用許可条件にそぐわない内容であったためです。また、この件は公職選挙法に違反していると疑われてもおかしくないものです。

今後も、許可の条件にそぐわない行動が再三認められる場合は、厳正な対応をとっていただきますよう要望いたしました。

その他の質問

- ◆交通渋滞対策について
- ◆ICTを活用した地域の情報共有について
- ◆職員の市内居住によるメリットについて
- ◆避難所のユニバーサルデザイン化について
- ◆自主防災組織について
- ◆文化振興の機運醸成について